

第4回 都市交通調査の深度化に向けた検討委員会 議事概要

日 時：令和5年12月06日（木）13:30-15:30

場 所：オンライン

主な議論の概要は以下の通り

1) 全国PT調査データを活用したシミュレータの検討

- ・ 潜在クラスの効用関数の部分とメンバーシップ関数の部分について、各変数の性質によって分けして整理できるとよい。例えば、潜在クラスのメンバーシップ関数を都市構造、個人属性のように分けしつつ、居住地の人口密度を上げる施策を検討する際には、変数として考慮することが適切なのではないか。
- ・ 効用関数のパラメータ推定結果においてクラス間で定数項の値が大きく異なり弾力性の違いを表現できていると思うので、交通手段選択は潜在クラスがよいのではないか。
- ・ 通勤系トリップと私事系トリップで都市タイプのクラスが異なると複雑になるため、潜在クラスでは共通のメンバーシップ関数とし、ツアー主要交通手段選択モデルにおいて異なるパラメータを与えることも考えられるのではないか。
- ・ 目的地選択においては、駅周辺と郊外型ショッピングセンターと商店街との取り合いを再現することが政策的にも重要である。
- ・ 目的地選択は各都市固有に差が出ると考えられるので、都市ごとにローカライズが必要ではないか。他都市でもパーソントリップ調査と比較検証していただけるとよい。
- ・ 大規模商業データに含まれている開業年数のデータをパラメータに加えることで、店舗の魅力や品揃えが表現できるのではないか。
- ・ 目的地選択に関しては空間的な相関の考慮や選択肢集合の精査を行うことで、モデルを改善することも考えられる。
- ・ 再現性の観点からは、一定程度、施策の検討に活用できそうなシミュレータができてきているのではないか。施策検討の活用においては、施設配置等の施策に対する感度があることが重要であり、今後のケーススタディで確認をできるとよい。

2) シミュレータの補正に関する検討

- ・ 今後の作業方針について了解。

以上